

令和3年春季講演会 講演プログラム 2021 Annual Spring Meeting Program

日時(Date) : 2021年5月31日(月), 6月1日(火) May 31 (Mon.) - June 1 (Tue.), 2021

場所(Venue) : オンライン開催 Online

講演時間(Time) : 講演15分, 質疑応答5分 (IS, OSを除く) Presentation 15 minutes, Session 5 minutes (Except IS, OS)

5月31日(月) May 31 (Mon.)

時 間(Time)	* 若手優秀講演賞審査対象 表 題(Title)	○講演者(Presenter) 著者(Authors)
【第1会場 Room1】		
9:00 ~ 10:20	一般講演 (GS1) 抵抗推進 I Ship resistance and propulsion I 司会(Chair) : 田中寿夫 (JMU) Hisao Tanaka (JMU)	
9:00 ~ 9:20	* 塗膜粗面の粗度抵抗推定法に関する研究	○高島公貴, 勝井辰博, 三重野紘央
9:20 ~ 9:40	* 36m長尺平板模型における間欠的気泡注入による空気潤滑法の高効率化	○田中泰爾, 大石義彦, 朴炫珍, 田坂裕司, 村井祐一, 川北千春
9:40 ~ 10:00	CFDによる柱状滑走体の流体力計算	○山口航平, 片山徹, 曾我匡統, 渡辺敏夫
10:00 ~ 10:20	* ベイズ最適化を用いた肥大船の省エネダクト設計に関する研究 -第2報-	○松村直也
10:40 ~ 12:00	一般講演 (GS2) 抵抗推進 II Ship resistance and propulsion II 司会(Chair) : 勝井辰博 (神戸大学) Tokihiro Katsui (Kobe University)	
10:40 ~ 11:00	実運航コスト最小化を図る新様式二重反転プロペラの開発	○藤田智, 松村直也, 南有祐, 山本虎卓, 高野浩太郎
11:00 ~ 11:20	Smart Wake Shipによる水中放射雑音実験	○木村校優, 瀬川航平, 見目陽太, 久本隆之
11:20 ~ 11:40	船首砕波のCFDシミュレーション(第2報)	○日野孝則, 水出昌宏, 高木洋平
11:40 ~ 12:00	* CFDを用いたVecTwin舵のRe数影響に関する研究	○青木佑介, 宮内新喜, 佐野将昭, 有井俊彦, 岡居真菜美, 牧教生
13:00 ~ 14:20	一般講演 (GS3) 機械学習・ベイズ推定 Machine learning and Bayesian inference 司会(Chair) : 岡正義 (海上技術安全研究所) Masayoshi Oka (National Maritime Research Institute)	
13:00 ~ 13:20	機械学習アプローチに基づく船体応答の推定に関する研究(第1報)	○見良津梨, 宮島秀規, 越智宏
13:20 ~ 13:40	* 船体応答に基づく推定波浪情報の時刻歴ベイズ更新に関する研究	○久保宏美, 岡田哲男, 陳曠, 川村恭己, 満行泰河
13:40 ~ 14:00	* 平板構造の溶接初期たわみのベイズ統計モデル化とその最終強度評価	○景山裕司, 辰巳晃
14:00 ~ 14:20	* 等価波浪頻度分布に基づく疲労被害度推定手法の実船計測による精度検証	大沢直樹, 前田展希, 平川真一, 関紀明, 吉田智美, 辰巳晃
【第2会場 Room2】		
9:20 ~ 10:20	一般講演 (GS4) 強度 I Strength of Hull Construction I 司会(Chair) : 辰巳晃 (大阪大学) Akira Tatsumi (Osaka University)	
9:20 ~ 9:40	Response Prediction based on FORM with Extrapolated Karhunen-Loeve Ocean Waves	○Tomoki Takami, Jørgen Juncher Jensen, Ulrik Dam Nielsen
9:40 ~ 10:00	船体構造応答評価に係るベンチマーク水槽試験	○武田勝利, 福井努, 朱庭耀
10:00 ~ 10:20	* 流弾塑性梁モデルを用いた船体桁の動的崩壊解析-第2報: 波浪中崩壊応答解析への拡張-	○司宮智洋, 辰巳晃, 飯島一博, 藤久保昌彦
10:40 ~ 11:40	一般講演 (GS5) 強度 II Strength of Hull Construction II 司会(Chair) : 後藤浩二 (九州大学) Koji Gotoh (Kyusyu University)	
10:40 ~ 11:00	3Dレーザースキャナによるボックスガダ試験体の初期たわみ計測とその成分分析	○辰巳晃, 小森山祐輔, 田中義照, 藤久保昌彦
11:00 ~ 11:20	* 局部座屈と全体座屈に対応した外圧を受けるリング補強円筒殻の最終強度推定	○塩満大祐, 柳原大輔
11:20 ~ 11:40	Fracture Mechanics Evaluation for Double Surface Cracks Generated in a T-shaped Tubular Joint	田中智行, Hiroki Takahashi, Thin Thin Htut, Kengo Maeda, Kazuhisa Yagi, Naoki Osawa
13:00 ~ 14:00	一般講演 (GS6) 設計・計画・生産 I Design and Planning I 司会(Chair) : 篠田岳思 (九州大学) Takeshi Shinoda (Kyusyu University)	
13:00 ~ 13:20	システムモデリングによるリスク解析手法の自動運航船の概念設計への適用	○塩莉恵, 伊藤博子, 柚井智洋, 石村恵以子, 三宅里奈, 工藤潤一, 河島園子
13:20 ~ 13:40	テキストマイニングを用いた商船設計の標準仕様書の策定方法	○青山和浩, 曾冉艺, 桂晨巍, 高橋賢治, 戸来直樹
13:40 ~ 14:00	造船工場の組立定盤における作業の対象ブロックと作業進捗の抽出手法の提案	青山和浩, 川辺航
14:00 ~ 15:00	一般講演 (GS7) 設計・計画・生産 II Design and Planning II 司会(Chair) : 青山和浩 (東京大学) Kazuhiro Aoyama (The University of Tokyo)	
14:00 ~ 14:20	TOC思考プロセスによる持続可能な社会経済における造船業の課題設定に関する考察	○土井裕文, 篠田岳思
14:20 ~ 14:40	音響管を用いた騒音抑制法の音響シミュレーションに関する研究	○田中太氏, 篠田岳思, オヒョンソン
14:40 ~ 15:00	An Update of China's Shipbuilding Industry	○黄新順, 篠田岳思

【第3会場 Room3】

9:20 ~ 12:00	オーガナイズドセッション (OS6) 遭遇海象の解明に向けた波浪データ利用の最前線 Frontier in Utilization of Wave Data to Identify Sea States Encountered by Ships オーガナイザー (Organizer) : 早稲田卓爾 (東京大学) Takuji Waseda (The University of Tokyo)	
9:20 ~ 10:20	荒天回避統計モデルと25年実遭遇波浪統計の構築 北大西洋の極大波浪分布: 数値モデルと衛星データの比較 北大西洋波浪ブイアレイによる25年波浪追算値の精度評価	○早稲田卓爾, Kaushik Sasmal, 見良津黎, 小平翼, 福井努, 朱庭耀, Kaushik Sasmal, 小平翼, 北祐樹, ○早稲田卓爾 ○小平翼, Kaushik Sasmal, 見良津黎, 福井努, 朱庭耀, 藤本航, 早稲田卓爾
10:40 ~ 12:00	荒天回避モデルを用いた長期実遭遇海象に基づく操船影響の定量的評価 荒天回避を考慮した実航跡再現のためのAISデータの欠損補間方法 北大西洋航船の波浪荷重分布と最悪海象波の変形と船体縦向け応答について	○見良津黎, Kaushik Sasmal, 小平翼, 福井努, 朱庭耀, 早稲田卓爾 ○藤本航, 福井努 ○岡正義, 馬沖 ○宝谷英貴, 早稲田卓爾
13:00 ~ 15:00	オーガナイズドセッション (OS3) RCPSP法による造船工程計画 RCPSP Approach for Ship-Building-Project Scheduling オーガナイザー (Organizer) : 梶原宏之 (長崎総合科学大学) Hiroyuki Kajiwara (Nagasaki Institute of Applied Science) メタヒューリスティクスによるスケジューリング最適化ソルバーの開発 配置計画を必要とする造船日程計画へのRCPSP法の適用 RCPSP法によるSASP定盤計画の支援 RCPSPアプローチによるストックヤード工程計画 RCPSP法による造船工程計画の実践-白舟造船所の場合- 造船デジタルツインの試み-デジタルツインによる予実管理に向けて-	○野々部宏司 ○左田野雅俊, 宇野清隆 眞邊貴浩, 高柳浩紀, ○岩下寛弥, 梶原宏之 ○山田拓史, 石川一郎 角田二郎, 緒方洋典, 荒金卓也, 高倉俊治, ○梶原宏之 角田二郎, 緒方洋典, ○高倉俊治, 山本隆史, 荒金卓也, 古賀大士

【第4会場 Room4】

9:00 ~ 10:20	一般講演 (GS13) 操縦性能 I Maneuverability I 司会 (Chair) : 橋本博公 (大阪府立大学) Hirotada Hashimoto (Osaka Prefecture University)	
9:00 ~ 9:20	* 浅水域における船の斜航流体力に関する尺度影響	○八谷洋輔, 佐野将昭, 平田法隆, 古川芳孝, 安川宏紀
9:20 ~ 9:40	* 等価一舵モデルによる浅水域における2軸2舵船の操縦運動シミュレーション	○奥田隆輔, 安川宏紀, 佐野将昭, 平田法隆, 古川芳孝, 松田秋彦
9:40 ~ 10:00	プロペラの横に舵を配置した船の旋回性能	○安川宏紀, 奥田隆輔, 平田法隆, 松田秋彦
10:00 ~ 10:20	* ダクト効果を有する非対称断面ツイン舵船型の開発(第8報 内航貨物船への適用と旋回性能)	○角谷拓紀, 栗林定友, 稲田博久, 松坂武彦, 武田俊文, 黒河保, 小山田俊英, 野中孝夫, 深澤正樹, 佐々木紀幸
10:40 ~ 12:00	一般講演 (GS14) 操縦性能・復原性能 Maneuverability and Stability 司会 (Chair) : 寺田大介 (防衛大学校) Daisuke Terada (National Defense Academy)	
10:40 ~ 11:00	三角形洋上浮体の針路安定性に関する研究	○朱洪忠, 岩木聡汰, 胡長洪, 姜欣怡
11:00 ~ 11:20	船外機付小型滑走艇の高速操縦運動シミュレーション法に関する研究	○片山徹, ○嶋中浩行, 山上航太, 前野仁
11:20 ~ 11:40	横波中横揺れの短期予測に関する研究	○片山徹, 勘角真依, 牧教生, 杉本圭, 福元佑輔
11:40 ~ 12:00	信長の鉄甲船の復原性と波浪中横揺れ特性	○片山徹, ○絹笠瑞基, 山本裕介, 立川英弘, 藤井尚夫
13:00 ~ 14:40	オーガナイズドセッション (OS1) 自動着機技術とその応用 I Automatic Berthing I オーガナイザー (Organizer) : 牧教生 (大阪大学) Atsuo Maki (Osaka University) 離着機技術に船体位置決め制御を用いた設計 * 風外乱補償型経路追従制御による自動着機制御 CMA-ES による大域的最適化に基づく低層なニューラル・ネットワークを用いた船舶のトラッキング制御について * 理想環境下で学習された船舶追従制御方策の現実環境への転移について 経路追従型自動着機における最適アプローチ操船制御に関する研究	○羽根冬希 ○澤田涼平, 北川泰士, 平田宏一 ○牧教生, 脇田康希, 正司公一, 宮内新喜, 梅田直哉, 秋本洋平 ○脇田康希, 秋本洋平, 正司公一, 宮内新喜, 梅田直哉, 牧教生 ○羽生一成, 奥山悦郎, 鈴木一朗

【第5会場 Room5】

10:40 ~ 12:00	一般講演 (GS16) 潮流・波力発電 Wave and Tidal Power Generation 司会 (Chair) : 宇都宮智昭 (九州大学) Tomoaki Utsunomiya (Kyusyu University)	
10:40 ~ 11:00	PW-OWC型波力発電装置の共振特性	○古川景菜, 居駒知樹, 相田康洋, 増田光一
11:00 ~ 11:20	Wave Drift Forces on A Barge-type Floater with Moonpools	○Lei TAN, 居駒知樹, 相田康洋, 増田光一
11:20 ~ 11:40	振動水柱型波力発電装置の空気室の縮尺影響と非線形影響に関する基礎的研究	○平井翔太, 居駒知樹, 相田康洋
11:40 ~ 12:00	モデル化誤差を含む波力発電装置のインピーダンス制御	○梅田隼, 谷口友基

13:00 ~ 14:00	一般講演 (GS17) 運動・波浪 I Seakeeping and Ship Motion I 司会(Chair): 笹健児 (神戸大学) Kenji Sasa (Kobe University)	
13:00 ~ 13:20	* 波浪時系列データを用いた船体運動のリアルタイム予測 第一報:非因果的インパルス応答関数の実用化	○飯田隆人, 花木孝明
13:20 ~ 13:40	* 波浪時系列データを用いた船体運動のリアルタイム予測 第二報: IIRフィルタによる数値計算の高速化	○花木孝明, 飯田隆人, 箕浦宗彦
13:40 ~ 14:00	大洋を航行する船舶に搭載されたAI(人工知能)による出会波の予測可能性について(第2報)	○影本浩, 山本航志, 濱脇萌佳
14:00 ~ 15:00	一般講演 (GS18) 運動・波浪 II Seakeeping and Ship Motion II 司会(Chair): 飯田隆人 (大阪大学) Takahito Iida (Osaka University)	
14:00 ~ 14:20	自己相関関数を用いた不規則波中計測の計測時間長の検証	○三宅成司郎
14:20 ~ 14:40	ベイズ推論による関数補間および微分方程式の同定	○一色浩
14:40 ~ 15:00	ベイズ推論によるパターン認識	○一色浩

6月1日(火) June 1(Tue.)

時間(Time)	表題(Title)	講演者(Presenter)	著者(Authors)
	* 若手優秀講演賞審査対象	○講演者(Presenter)	
	【第1会場 Room1】		
9:20 ~ 12:00	オーガナイズドセッション (OS5) AIS等の船舶動静ビッグデータの物流・海運・造船分野における活用 The Application of Vessel Movement Big-data in the Fields of Logistics, Maritime Shipping, and Shipbuilding オーガナイザー(Organizer): 柴崎隆一 (東京大学), 和田祐次郎 (広島大学) Ryuichi Shibasaki (The University of Tokyo), Yujiro Wada (Hiroshima University)		
9:20 ~ 10:40	AIS等の船舶動静データの物流・海運・造船・環境・クルーズ分野における利用に関する研究レビューと今後の展望	○和田祐次郎, 柴崎隆一, 小坂浩之, 渡部大輔, 伊東弘人, 坪田建明, 荒谷太郎, 泉山卓, 岩佐竜至	
	* Long-term Ship Position Prediction using AIS data and Deep Learning		○Ibadurrahman, 濱田邦裕, 和田祐次郎, 七尾丈太, 渡邊大介, 間島隆博
	AISデータを用いた機械学習に基づく港湾取扱貨物量の短期予測		○中島陽斗, ○柴崎隆一
	Geographical Analysis for Bulk Carriers in the Spot Market		○Liwon Murong, 柴崎隆一
11:00 ~ 12:00	Deep Learningと海上物流ビッグデータを用いた海運市況の予測に関する研究		○和田祐次郎, ○平山大貴, 河原大輝, 濱田邦裕, 七尾丈太, 渡邊大介, 間島隆博
	AISデータを活用した海上輸送の用船パターンの抽出と用船シミュレーションの構築		○青山和浩, ○石松岳浩, 山田周歩
	船舶動静データを用いた排出規制海域の影響に関する分析-LNG船を対象とした衛星AISデータを用いて		○渡部大輔, 横川達也, 金會勲, 鳥海重喜
13:00 ~ 14:40	オーガナイズドセッション (OS7) 地震・津波防災への取り組み The Forefront Activities of Earthquake and Tsunami Disaster オーガナイザー(Organizer): 増田光弘 (東京海洋大学), 井上朝哉 (海洋研究開発機構), 勝井辰博 (神戸大学) Mitsuhiro Masuda (Tokyo University of Marine Science and Technology), Tomoya Inoue (JAMSTEC), Tokihiro Katsui (Kobe University)		
	* 港湾内船舶の津波被害予測データベース構築に関する研究 -岸壁係留船舶の津波被害予測-		○筒井千曉, 増田光弘, 南清和
	海洋エネルギー発電の沿岸展開に向けた海底ジオハザード・津波リスク評価への取り組み		○村田一城, 林昌奎, 丸山康樹, 佐々真志
	* 堤防による大規模津波の減災効果に関する研究		○西村恵風, 村田浩哉, 勝井辰博
	* 深喫水型浮体式津波対策用岸壁の形状が防災性能に与える影響に関する基礎的研究		○中山恵介, 増田光弘, 南清和
	津波漂流物の衝突力に与える流体力及び喫水の影響に関する基礎的研究		○相田康洋, 武川芽生, 居駒知樹, 増田光一
	【第2会場 Room2】		
9:00 ~ 9:40	一般講演 (GS8) 係留摩耗 Wear of Mooring Chain 司会(Chair): 大沢直樹 (大阪大学) Naoki Osawa (Osaka University)		
9:00 ~ 9:20	没水環境下における係留鎖摩耗挙動再現試験装置の構築		○後藤浩二, 村上幸治, 宇都宮智昭, 佐藤郁
9:20 ~ 9:40	* 浮体構造物係留鎖における転がりを考慮した簡易摩耗量推定手法の提案		○武内崇晃, 宇都宮智昭, 後藤浩二, 佐藤郁
9:40 ~ 10:40	一般講演 (GS9) 疲労・亀裂 Fatigue and Crack 司会(Chair): 岡田哲男 (横浜国立大学) Tetsuo Okada (Yokohama National University)		
9:40 ~ 10:00	* Numerical Study on Mixed-Mode Stress Intensity Factors for a Surface Crack in HFMI-Treated Welded Joint		○Phyo Myat Kyaw, 入江健太, 大沢直樹, Sherif Rashed, 田中智行, Ramy Gadallah
10:00 ~ 10:20	* Evaluation of Long-term Fatigue Damage in a Semisubmersible Floating Structure Supporting Wind Turbine		○Ahmad Adilah, 飯島一博, 井上知哉
10:20 ~ 10:40	* 弾塑性FE解析を用いた亀裂先端の両振り塑性挙動を考慮した疲労亀裂伝播解析		○山口純也, 後藤浩二
11:00 ~ 12:00	一般講演 (GS10) 溶接・工作 Welding and Manufacturing 司会(Chair): 柴原正和 (大阪府立大学) Masakazu Shibahara (Osaka Prefecture University)		
11:00 ~ 11:20	* Object detectionを応用した溶接ビード外観検査の自動化に関する研究		○鈴木豊, 河元泰裕, 郷卓純, 四塚卓之, 安永明弘, 山田智章, 宮島秀規, 大沢直樹
11:20 ~ 11:40	* レーザ・アークハイブリッド溶接を用いた横向及び立向上進突合せ継手製作に関する諸検討		○上村崇社, 後藤浩二, 内野一成, 福田時生, 内村友哉, 村上幸治
11:40 ~ 12:00	* レーザ・アークハイブリッド溶接を用いた長尺の完全溶込みT継手の実用的施工法に関する諸検討		○上村崇社, 後藤浩二, 内野一成, 内村友哉, 村上幸治

13:00 ~ 14:40	オーガナイズドセッション (OS2) 造船技術、文化の保存と活用 Preservation and Application of Technology and Culture of Ships オーガナイザー：内藤林 (大阪大学), 山口悟 (九州大学), 平山次清 (横浜国立大学) Shigeru Naito (Osaka University), Satoru Yamaguchi (Kyushu University), Tsugukiyo Hirayama (Yokohama National University) 海事遺産としての曳船第一芝浦丸の特徴について ふね遺産としての「威臨丸」 一我が国初所有のスクリュー推進蒸気帆船— 日米船鉄交換船“Eastern Soldier”と保存図面 伊勢大湊の造船資料について 一第5報 市川造船所による木造船用木材強度試験— 水雷艇友鶴の転覆事故に関する考察	○庄司那昭, 小堀信幸 ○平山次清 石津康二, ○山上和政, 橋本一彦 ○伊藤政光 ○小嶋良一
---------------	--	---

【第3会場 Room3】

9:00 ~ 10:40	一般講演 (GS11) 数値流体 Numerical Fluid Dynamics 司会(Chair)：鈴木博善 (大阪大学) Hiroyoshi Suzuki (Osaka University)	
9:00 ~ 9:20	三段階の双方向重合粒子による可変解像度粒子法を用いた船舶に加わる波浪荷重の数値解析	○柴田和也, 前田智紀, 馬場禎男, 金井健
9:20 ~ 9:40	着水した角材の姿勢に関する粒子法シミュレーションについて	○日比茂幸, 藪下和樹, 木原一
9:40 ~ 10:00	ダムブレイク問題におけるゲートの影響に関する数値的研究	○渡辺勢也, 胡長洪
10:00 ~ 10:20	二次元模型浮体のスラミング問題におけるMPS法の数値計算条件の考察	○飯田隆人, 横山雄大, 西谷瞭
10:20 ~ 10:40	水面を貫通する低AR円柱周流の自由表面影響に関する数値的研究	○平林紳一郎, 北野雄資
13:00 ~ 14:20	一般講演 (GS12) 海洋環境 Marine Environment 司会(Chair)：大塚耕司 (大阪府立大学) Koji Otsuka (Osaka Prefecture University)	
13:00 ~ 13:20	* CNNを用いた深海生物種の判別及び個体数の直接推定手法の検討	○絹井雅子, 中谷直樹
13:20 ~ 13:40	* 超音波流速計を用いた実海域における懸濁物質濃度の計測法	○ハリクリシュナンハリワラーナン, 新井励, 中谷直樹
13:40 ~ 14:00	海底漏出CO2発生源数値推定法の精度向上に関する研究	前田晃暉, 金尾俊介, ○佐藤徹
14:00 ~ 14:20	* 気液二相流中におけるCO2ハイドレート生成の孔隙スケール数値シミュレーション	○山ロアラン純司, 小林海人, 佐藤徹, 鳥羽瀬孝臣

【第4会場 Room4】

9:00 ~ 10:40	オーガナイズドセッション (OS1) 自動着機技術とその応用 II Automatic Berthing II オーガナイザー(Organizer)：牧敦生 (大阪大学) Atsuo Maki (Osaka University) * 航行環境を考慮した着機制御のための経路計画 モデル化誤差に対してロバストな着機制御に向けた検討 教師あり学習と強化学習による着機制御則の獲得 ハーバータグによる離着機支援操船の運動モデルに関する基礎研究 実船の港内操縦運動を再現するための模型試験法の開発と自動着機アルゴリズム検討への適用	○澤田涼平, 平田宏一 ○秋本洋平, 宮内新喜, 牧敦生 ○清水彰馬, 白川真一, 牧敦生 ○佐野将昭, 飯塚大貴, 山崎剛至, 上村航大, 安川宏紀 ○北川泰士, 塚田吉昭
11:00 ~ 12:20	一般講演 (GS15) 操縦性能 II Maneuverability II 司会(Chair)：古川芳孝 (九州大学) Yoshitaka Furukawa (Kyusyu University)	
11:00 ~ 11:20	* Nonlinear Filtering for Parameter Estimation of 1DoF Maneuvering Model	○小池弘顕, レオドスタル, 正司公一, 天野希海, 牧敦生
11:20 ~ 11:40	* 制御入りARMAモデルを状態空間モデルとして用いたカルマンフィルタによる状態量推定に関する一考察	○笹木雄太, 小池弘顕, 正司公一, 谷口拓也, 梅田直哉, 牧敦生
11:40 ~ 12:00	後進時大舵角の舵力のMMGモデルについて	○宮内新喜, 青木佑介, 牧敦生
12:00 ~ 12:20	ベクトル舵のジョイスティック操船の高機能化に向けた予備的研究	○牧敦生, 脇田康希, 秋本洋平
13:00 ~ 15:00	オーガナイズドセッション (OS4) 実船モニタリング解析の技術とその応用 Technology and Application of Monitoring Data Analysis on Full-scale Ship オーガナイザー(Organizer)：箕浦宗彦 (大阪大学), 笹健児 (神戸大学), 寺田大介 (防衛大学校) Munehiko Minoura (Osaka University), Kenji Sasa (Kobe University), Daisuke Terada (National Defense Academy) * 荒天航海における大型フェリーの車両貨物挙動シミュレーション * 実船データとの比較による南半球海域を対象とした最適運航モデルについて Evaluation of Ship Performance in Actual Seas Using Onboard Monitoring Data 方向波スペクトルのBayes推定に関する計算法の改良 非線形梁有限要素法とアンサンブルカルマンフィルタを用いた船体の積載荷重の逆推定 * 船体運動データの同化によるモーター影響を考慮した1自由度モデルの推定法	○島田達郎, 笹健児 ○田中穰一郎, 笹健児, 陳辰 ○粉原直人 ○寺田大介, 井関俊夫 ○辰巳晃, 飯島一博, 藤久保昌彦 ○花木孝明, 箕浦宗彦

【第5会場 Room5】

9:00 ~ 9:40	一般講演 (GS19) 掘削技術 Floating Structure 司会(Chair)：千賀英敬 (大阪大学) Hidetaka Senga (Osaka University)	
9:00 ~ 9:20	海洋掘削用ドリルパイプのStick-Slip現象の数値解析	十河大介, ○勝井辰博, 井上朝哉, 和田良太, 鈴木博善
9:20 ~ 9:40	* 一様流中で回転する円柱に働く流体力の振動成分と固有振動数の影響に関する実験的研究	○鈴木雅洋, 居駒知樹, 相田康洋, 林昌奎

9:40 ~	10:40	一般講演 (GS20) 海洋浮体 Floating Structure 司会(Chair) : 増田光弘 (東京海洋大学) Mitsuhiro Masuda (Tokyo University of Marine Science and Technology)	
9:40 ~	10:00	Tank Test for Large Flexible Semi-Submersible Structure for Aquaculture	○飯島一博, 千賀英敬, 辰巳晃, 伊藤翔, Yuwang Xu, Shixiao Fu
10:00 ~	10:20	揚力線理論を用いたシミュレーションによる垂直軸型風車の風車性能とその後流に傾斜が及ぼす影響	梅本宙輝, ○千賀英敬, 秋元博路
10:20 ~	10:40	* 垂直軸型風車を搭載したムーンプールを有するポンツーン浮体における風車の回転影響に関する研究	○守津颯哉, 居駒知樹, 相田康洋
11:00 ~	12:20	一般講演 (GS21) 海洋発電 Ocean Current Power Generation 司会(Chair) : 村根基彦 (横浜国立大学) Motohiko Murai (Yokohama National University)	
11:00 ~	11:20	* 単バケット式波力タービンの数値モデルの構築	○鶴田悠斗, 千賀英敬, 秋元博路
11:20 ~	11:40	浮沈式潮流発電システムの実海域実験結果	○経塚雄策, 坂口大作, 鳥谷隆, 胡長洪
11:40 ~	12:00	Numerical Simulation of Two Tidal Turbines with Free-Surface Effect	○Mohamed M. Kamra, 胡長洪
12:00 ~	12:20	波の影響を考慮した2基潮流タービンの水槽実験	○胡長洪, 福島総士, カムラモハメド, 渡辺勢也, 野田穰士朗
13:00 ~	14:00	一般講演 (GS22) 洋上風車 I Offshore Wind Turbine I 司会(Chair) : 居駒知樹 (日本大学) Tomoki Ikoma (Nihon University)	
13:00 ~	13:20	* MBDynによる浮体式洋上風車の設計ツール開発-流体力解析・係留解析モジュール	○大窪寿志, 松田知大, 宇都宮智昭
13:20 ~	13:40	* Analytical and Experimental Study on Riser Aspirating Fluid for OTEC Application	○Ristiyanto Adiputra, Kouki Ikeda, Ryoya Hisamatsu, Tomoaki Utsunomiya
13:40 ~	14:00	* OTEC発電プラント船と複数の深層水取水管の連成挙動解析	○山岸滉生, 久松稜弥, 宇都宮智昭
14:00 ~	15:00	一般講演 (GS23) 洋上風車 II Offshore Wind Turbine II 司会(Chair) : 新里英幸 (日立造船株式会社) Hideyuki Niizato (Hitachi Zosen Corporation)	
14:00 ~	14:20	* 柔軟多体系モデルによる浮体式洋上風力発電施設の応力解析	○中島直也, 宇都宮智昭, 武内崇晃
14:20 ~	14:40	* 独立ピッチ制御による浮体式洋上風車のYaw応答抑制に関する研究	○西澤春輝, 宇都宮智昭
14:40 ~	15:00	風・波複合場でのセミサブ型浮体式風車の応答評価実験における空力荷重特性のモデル化に関する研究	井上知哉, ○飯島一博, Ahmad Adilah, 原健太郎, 福王翔, 鈴木英之